



これからの「私たち」の話をしよう

～拓大生が選挙について思うこと～

団体名

甲斐ゼミナール

国際学部 国際学科 2年
代表者 酒井 翠 他14名

実施スケジュール

平成27年5月17日～10月31日

| | |
|-------------------|------------------------|
| 5月17日 | 前橋育英高等学校 担当教諭と打ち合わせ |
| 5月26日 | 高校宛に企画書の提出 |
| 6月3、10、 17、24日 | ゼミ内での勉強会 |
| 7月1日 | アンケート制作開始 |
| 7月13～17日 | アンケート実施 |
| 7月18日 | 公開シンポジウムへの参加 |
| 7月29日 | アンケート集計・打ち合わせ |
| 8月4、7、20、 21日 | 大学にて打ち合わせ・制作 |
| 8月29日 | 高校にて担当教諭と事前確認 |
| 8月30日 | 現地ホテルにて最終確認 |
| 8月31日 | 前橋育英高校にて出張授業 |
| 9月4、8日 | 大学で打ち合わせ |
| 9月9日 | ゼミ合宿にて活動報告 |
| 9月15日 | 事後アンケート実施 |
| 9月20日 | 事後アンケート集計 |
| 10月3日 | 社会人基礎力育成 グランプリへの参加 |

実施内容・成果

私たちは、昨年6月に選挙権が18歳へと引き下げになったことや、昨今の、特に若者の投票率の低さに問題を感じていました。そこで高校生へ選挙についての模擬授業を行い、楽しく学ぶことで関心を持ってもらうこと、そして教えることでの私たち自身の知識定着と2つの課題を目的としてこの活動に取り組みました。

活動の要となる8月31日の模擬授業に向け、前期そして夏休みを準備期間としました。模擬授業を行う高校の担当の教諭とは、代表者の母校であったこともあり、学生チャレンジ企画採択以前の5月中旬より密に連絡を重さね、5月26日に高校側へ企画書の提出、



勉強会の様子

29日には快諾を得ることができました。

授業の内容を決める前に、まず私たち自身の知識不足という問題があったため、6月中のゼミの時間で政治・選挙についての基礎を勉強しました。特に普段のゼミ活動で使っている「プレステップ政治学」を用いた、議会政治と政治システムについて重点を置いた授業計画を作成しました。そして7月から授業の方向性を決めるため、また高校生に少しでも親近感をもってもらうための授業前アンケートの制作にも取り組みました。

アンケートでは政治についての興味の有無や投票への意欲などの質問項目を作成し、各学年から無作為に5クラスずつ選び計15クラスに配布し回収。アンケートは7月13日から17日の期間で行い、7月29日にアンケート集計と同時に授業の内容や進め方を決める打ち合わせを行いました。

8月中の活動は打ち合わせを繰り返し、授業のリハーサルを行い、授業中に使用するパネルやパワーポイントを制作しました。そして、8月29日に前橋育英高校を訪問、当日使わせていただく教室や、機器の確認を行いました。

模擬授業当日。授業対象は、3年1組の生徒たちの協力を得て、彼らの7限目の時間で模擬授業を行うことになりました。内容がうまく伝わるか、理解してもらえるかの不安は多くありましたが、真剣な顔で聞いてくれ、感想に「楽しかった」、「分かり易かった」とレスポンスもあり、成果を実感することができました。

活動後は、9月9日・10日に行われたゼミ合宿の中で、模擬授業について報告を行いました。さらに私たちの活動を多くの人に知ってもらうため、10月3日に行われた社会人基礎力育成グランプリへ参加しました。活動報告では、先輩や先生からの評価とともに、更なる改善点の指摘もあり、今後の活動に生かしていきたいと考えています。

また社会人基礎力育成グランプリでは、自分たちの活動が未熟あったことを痛感させ



模擬授業中の様子

られました。そして、他の団体からとても良い刺激を受けることができたので、こちらも今後の活動へと生かしたいと思います。

この二つの報告のために授業を受けてくれた、前橋育英高校の3年1組の生徒たちにアンケートを行いました。結果、「選挙に行こうと思う」という学生が19%増加し、「政治への印象が良くなった」という学生が52%増加しました。さらに、「選挙に行かないことへの危機感が持てた」という生徒が全体の92%を占めました。この結果を受け、私たちの活動に高校生が少しでも政治や選挙について興味を持ってくれたのならば、それが大きな成果だと考えています。



授業後に手作りパネルを持って

反省点など

今回の企画に深くかかわった者として言えることは、「組織的に動く難しさ」を痛感したことでした。

5月29日に前橋育英高校から快諾の返事を得て、8月31日の模擬授業開催までの94日間の時間を、企画の中心メンバーの間では、企画に関する準備の大筋は見えていたし、具体的なプランも練っていました。しかしこれは甲斐ゼミ全体で、組織として活動すると決めたこと。企画の中心メンバーの他に、協力してくれる甲斐ゼミメンバー全員で模擬授業についての情報を共有する必要があります。今回は、その情報の共有が難しかった。ほかのメンバーへの情報の連絡、情報への質問、疑問。そしてメンバー全員が「選挙」と「政治」についての知識を深める必要もありました。94日という期間があった。しかしメンバー全員が集まって活動できたのは、水曜5限のゼミの後のわずかな時間と本

番前日のみ。94日のうち、全員で練習をする時間や、勉強会に充てる時間をもっと必要だったと反省しています。

なぜ全員で取り組む時間の確保が難しかったのか。皆の個人としての時間から都合が合わなかったのは明白。しかし、今回の活動には、選挙権18歳引き下げに伴い若者に選挙教育をするという、活動の核があり、政治を学ぶ甲斐ゼミとして、取り組む意義がありました。それを皆が深く理解できていれば、もう少し精力的に活動に参加し、もっと精度を上げて、計画的に企画を進めることができたと感じています。

今回痛感した、「組織的に動く難しさ」。これは今後社会に出てからもぶつかる課題です。リーダーシップとフォロワーシップについて、学ぶことの大切さを知ることができたことも大きな収穫と感じています。

収支報告

| 支出総額 83,714円 | | 奨励金 73,000円 | |
|--------------|-------------------|-------------|---------|
| 内訳 | | | |
| | 項目 | 個数 | 小計 |
| 交通費 | 高尾駅⇨前新橋駅(往復) | 10名 | ¥38,800 |
| 宿泊費 | | 10名 | ¥42,500 |
| 郵送代 | アンケートの郵送(簡易書留/速達) | | ¥710 |
| | アンケートの郵送(速達) | | ¥400 |
| | アンケート受け取り(代引き) | | ¥872 |
| 事務用品 | 封筒 | | ¥108 |
| | シール | | ¥108 |
| | 画用紙 | 2セット | ¥216 |
| | | 合計 | ¥83,714 |

ホームページ掲載

- 実施企画書▶ <http://gakuchalle.jp/2015/kikakusho.html>
- 中間レポート▶ <http://gakuchalle.jp/2015/center-report.html>
- 学チャレレポート▶ <http://gakuchalle.jp/2015/index.html>



アンケート集計の様子